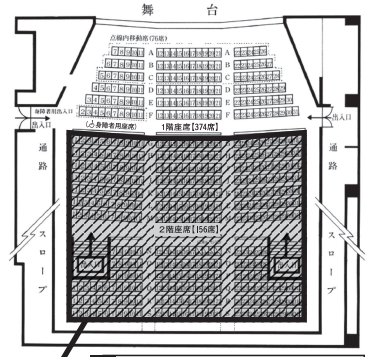
# 広島神楽
## 定期公演へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(1)座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
(2)上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
(3)お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険**な場合がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
(4)撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
**※フラッシュの使用、三脚を使用しての撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

**撮影エリアについてのご案内**

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。




ご注意　フラッシュを使用しての撮影、三脚を使用しての撮影、撮影された画像の営利目的での使用および10分以上の動画公開は禁止させていただきます

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして広島神楽の魅力を発信してください！！

8月21日のタイムスケジュール
出演:戸谷神楽団(北広島町)
19:00～開演
19:05～第一幕『葛城山』(およそ40分)
～幕間(休憩)～
20:05～第二幕『八岐大蛇』(およそ45分)
20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## 戸谷神楽団(とだにかぐらだん)プロフィール ～北広島町～

**明治初期、地元戸谷亀山八幡神社に神楽を奉納するため、戸谷神楽団が創設されたとされています。先人の方々が古くより伝承されてこられた舞と奏楽は地域の人々の心に沁み、伝えられてきました。今度は私たちの番と、奉納・伝統継承に日々精進しているところです。**
**頃年、数名の若手団員を迎え、現在18名の地元団員で「地域に根ざした神楽団」を合言葉に活動しております。まだまだ未熟な舞ではございますが皆様に一生懸命さが伝われば幸いです。暖かなご声援を宜しくお願いします。**

## 第一幕『葛城山』 かつらぎざん

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を撹乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。
時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。
しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。
頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

| | | |
|---|---|---|
| 大太鼓 | ― | 山本　圭介 |
| 小太鼓 | ― | 若狭　義文 |
| 手打鉦 | ― | 水野　功樹 |
| 笛 | ― | 上田　晃平 |
| 源頼光 | ― | 上田　裕 |
| 碓井貞光 | ― | 上田　慎也 |
| 卜部季武 | ― | 下田　宏大 |
| 胡蝶 | ― | 吉野　剛二 |
| 土蜘蛛の精魂 | ― | 仲野　敦史 |

## 第二幕『八岐大蛇』 やまたのおろち

出雲の国に暮らす足名椎・手名椎老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の姫が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の姫・奇稲田姫(くしいなだひめ)は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原から舞い降りた須佐乃男命(すさのおのみこと)が通りかかり、その訳を聞きます。
尊は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。
大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)と名づけ、天照大神に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

| | | |
|---|---|---|
| 大太鼓 | ― | 若狭　義文 |
| 小太鼓 | ― | 上田　壱都 |
| 手打鉦 | ― | 上田　晃平 |
| 笛 | ― | 吉野　剛二 |
| 須佐乃男命 | ― | 仲野　敦史 |
| 奇稲田姫 | ― | 上田　裕 |
| 足名椎 | ― | 今田　信男 |
| 手名椎 | ― | 中谷　聡一郎 |
| 大蛇 | ― | 山本　圭介 |
| 〃 | ― | 佐々木　賢治 |
| 〃 | ― | 上田　慎也 |
| 〃 | ― | 下田　宏大 |
| 〃 | ― | 水野　功樹 |

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。
※助成/一般社団法人地域創造